

ニュースレター 経済教育学会

2020. June. No.33

会員の皆様へ・・・1 オンラインフォーラムについて・・・2 理事会議事録・・・3-4

会員の皆様へ

令和2年度の経済教育学会（会長からのお願いを添えて）

経済教育学会 会長 高橋 勝也（名古屋経済大学准教授）

皆様、平素よりお世話になっております。経済教育学会会長・高橋勝也です。皆様に支えられて盛会となった昨年度の愛知・犬山全国大会から、早くも一年が近づこうとしています。そんな中、現在、人類はコロナウィルスという未知なる敵と一致団結して闘っています。経済教育学会では、毎年春に実施する春季研究大会が中止に追い込まれてしまいました。また、恒例の秋の全国大会延期を検討せざるを得ない状況にも追い込まれています。しかし、コロナウィルスに負けるわけにはいきません。チャレンジングな姿勢を学会として保つために、オンラインを活用した大会ができないかなど、さまざまな準備を進めているところです。過日、二度にわたりオンライン形式で理事会を開催し、これからの経済教育学会について議論いたしましたので、皆様に学会の現状とこれからの方向性を次のご報告申し上げます。これからもより一層のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

- 1 例年、ゴールデンウィーク明けに送付している学会ニュースレターの発行が、諸般の事情により遅れてしまいました。申し訳ございません。
- 2 1を受けて、同封する会費納入の振込取扱票の送付も遅れてしまいました。会計処理上、個別でご対応していただいた方には、感謝申し上げます。
- 3 秋の全国大会延期が検討されている中、現在、オンラインフォーラム（研修会）を計画しております。分科会等も用意し、皆様のご研究成果が発表できるように準備しております。詳細が決まり次第、学会ホームページでご案内申し上げますので、ぜひ、奮ってご参加ください。なお、恒例の全国大会は、来春の開催を目指しております。

引き続きよろしくお願いいたします。皆様におかれましては、くれぐれもご自愛ください。

学会運営と情報共有の円滑化のため、メールアドレスの登録をお願いしております。登録されておられない方は学会事務局のメールアドレス office@ecoedu.jp に御知らせ願います。左のQRコードより、携帯メールから登録可能です。



経済教育学会 オンラインフォーラムのご案内

大会テーマ：オンライン授業と経済教育

日時：2020年9月27日（日）※（一日開催）

主催：経済教育学会

会長 高橋勝也（名古屋経済大学）

皆様、平素よりお世話になっております。経済教育学会会長・高橋勝也です。皆様に支えられて盛会となった昨年度の愛知・犬山全国大会から、早くも一年が近づこうとしています。そんな中、現在、人類はコロナウィルスという未知なる敵と一致団結して闘っています。経済教育学会では、春季研究大会が中止に追い込まれてしまいました。また、恒例の秋の全国大会延期を検討せざるを得ない状況にも追い込まれています。（来春に対面での開催を検討中です。）しかし、コロナウィルスに負けるわけにはいきません。チャレンジングな姿勢を学会として保つために、オンラインを活用した大会ができないかと、研修会を計画しています。大会テーマを「オンライン授業と経済教育」として、コロナ禍での皆様の教育現場における授業の在り方について共有し、個々がトライした実践事例を把握するだけでなく、これによって大局観がどのように変わっていくのかを皆様で考えていきたいと存じます。詳細につきましては、別途、学会ホームページとメールマガジンで改めてお知らせいたします。オンライン開催ですから、場所をいとわずご参加いただけますが、スケジュールはブロックしておいていただけないといけません。例年通りに秋に研究成果をご披露していただく機会を周知させていただくことで、皆様の研究が前進しますことを切に願っております。なにぶん、慣れないことばかりで、ご迷惑をおかけすることになりますが、皆様のご支援とご協力に対面の大会に劣らないオンラインフォーラムにして参ります。どうぞよろしく願いいたします。

大会スケジュール（予定）※変更の可能性がります

9月27日（日） ※（一日開催）

【午前】理事会、シンポジウム 【午後】 総会、分科会、懇親会

お問い合わせ

〒484-8504 愛知県犬山市内久保6-1-1 名古屋経済大学 高橋勝也研究室内

オンラインフォーラム実行委員会

Tel:(0568)67-0511 Fax:(0568)67-4299 Email (大会用): econnagoya2019@gmail.com

<会員の異動>新入会員

2020年度新規入会会員（ニューズレター第32号以降）

正会員 伊澤直人(愛知県西尾市立一色中部小学校) 市野泰和(立命館大学経済学部) 安野雄一(大阪市立東三国小学校)

学生会員 佐藤菜々子(明治大学) 辻貴子(明治大学) 藤井紫水(明治大学) 飯塚紗彩(明治大学) 大坪実咲希(明治大学) 堀枝里子(立教大学経済学研究科博士前期課程) 古里翔汰(追手門学院大学経営学部) 平泉沙由里(福井県立大学大学院)

プレオンライン理事会 2020/04/23

審議事項

1. 全国大会の日程について

全国大会の開催校である日本大学経済学部の状況としては、入試業務の変更の可能性があり、利用が難しくなる可能性があるが、施設利用の空きがある状況ではある。しかし、現時点で従来通りの対面形式での全国大会開催が決められないことから、従来の形での全国大会を3月に春季研究集会を兼ねる形で行うという案がおおむね了承された。事務局からは学会活動を行うことが3月まで順延されることは、学会会員への学会所属のメリットが薄れる懸念が示された。大学での本格的なオンライン授業の提供が始まり、今は不慣れな教員も今後慣れてくることが予想されることから、技術的な課題はあるが、10月の試験的なオンラインでの研究発表会の開催を目指し準備を進めるといふ提案におおむね賛同した。

準備に関しては会長、大会実行委員長と事務局を中心に進め、できるだけ早く試案を作成することとなった。

10月 試験的オンライン研究発表会

3月 経済教育学会全国大会

2. ニュースレターの発行のスケジュールについて

従来のニュースレターには全国大会の発表募集がされていたが、今年は現時点での秋の開催が難しいため、ニュースレターの発行を遅らせ、オンラインによる10月の研究発表についての会員向けのアナウンスの準備を進め、決まり次第ニュースレターを発行することとなった。

3. 予算と決算について

会計担当から予算案・決算案の簡単な説明があり、3000円程度の誤差が生じており、原因を今調査中であることが伝えられた。オンラインによる研究発表会の準備など、今年度の予算案は従来ものを踏襲する形ではなく、再度見直す必要があるという指摘があり、予算案は見直されることとなった。

4. オンライン経済教育授業研究会について

今後会長と事務局で検討を進め、準備が整い次第再度理事会のメーリングリストで連絡する。

オンライン理事会 議事録 5月9日(土)14時~15時30分

参加者: 飯嶋香織、岩田年浩、井草剛、宇佐見義尚、大坂洋、久井田直之、越田年彦、関本祐希、高橋勝也、高橋桂子、竹田英司、新里泰孝、裴光雄、松尾匡、八木紀一郎 15名
委任状: 5名

議事に先立ち、議長に高橋会長、書記に久井田理事が選出された。

報告事項

1. 4月23日のプレオンライン理事会について

プレオンライン理事会の審議事項が承認された。具体的には次の5点。

- ①10月の全国大会を明年3月に延期し、春季研究集会も兼ねた大会にすること②全国大会の代わりに10月にオンラインフォーラムを開催すること③オンラインフォーラムの呼びかけのニューズレターを6月に発行すること④予算案はオンラインフォーラムに向けて予算を組みなおし、決算案について誤差を調査中であること⑤オンライン経済教育授業研究会を準備すること

2. 学会誌『経済教育』について

編集委員長から『経済教育』第39号について報告があった。例年と同じくらいの数の投稿があったことが報告された。但し、査読なしの投稿の中に二重投稿が疑われる投稿があったことが報告された。今後の処分や対応に関しては今後の理事会で審議することとし、編集委員長から投稿者への連絡を行い、論文を受理できない旨を伝えるとの報告があった。

審議事項

1. 研究倫理に関するルール作りについて

報告事項に引き続き、編集委員長から、今後の対策のためのルールについて、編集委員会でルールの素案を作り、その素案を基に今後の理事会で審議することが承認された。越田理事からは、中高の先生方の場合、小規模な仲間向け印刷物に学会報告する場合と学会誌投稿を行う場合があるので、慎重に審議していくべきであるとのご意見をいただいた。

2. オンラインフォーラムについて

テーマが「オンライン授業と経済教育に関するフォーラム」で、今回は日本のオンライン授業の現状に焦点をあて、シンポジウムは国内の中高大の先生にご講演いただき、分科会のほうでオンライン授業に先進的な韓国の実情を報告していただく方向で承認された。参加理事からは、中高の先生方が現場で感じるオンライン授業実施への障害など、中高の事例の発表も大切であることや、ポストコロナの社会・経済というような幅広い視点での発表が有益ではないかななどの提案があった。Zoomを用いた形式での会議として、大会後に発表者にはオンラインのワーキングペーパーへの投稿権を付与することが承認された。大坂理事からは新型コロナウイルスの影響の大きい分野に関してテーマを設けた企画分科会を募ってはどの提

言もあった。スケジュールについては、5月下旬に第一次大会案内と自由論題募集開始(HP上)、6月20日(土)自由論題募集締め切り、7月18日(土)第2回オンライン理事会(分科会プログラム・座長(法人アカウント所有者)の確定)という流れで準備を進めることが承認された、

3. 補充理事について

久井田理事からオンライン関係の業務が今後増える可能性が高く、事務局やオンラインフォーラムを手伝ってくれる会員に理事に加わってほしいとの説明があり、今後開催予定の日大の近くで、事務局のサポートもしやすいことも含め、明治大学の土居拓務会員を補充理事に加えようかどうかの提案があり、承認された。

2020 韓国経済教育学会 (KEEA) 夏季学術大会のご案内

日時:2020年8月20日(木)、21日(金)

20日:シンポジウムと論文発表、21日:会員間の交流プログラム予定

場所:順天大学 テーマ:経済教育課程、どのように変えるのか

会費納入のお願い

2020年度の年会費の納入をお願いいたします。2020年4月下旬の納入状況に基づいております。前年度(2019年度)以前の会費の納入がまだの方には複数年分の会費が振込用紙に記載されておりますので、ご注意ください。また、特別会員制度により、65歳以上の方は年会費が2,500円となります。該当する方は学会事務局へのメール(office@ecoedu.jp)もしくは、事務委託先 株式会社サウトまで御連絡願います。下記の振込口座での振込みも可能です。

ゆうちょ銀行 口座番号:00920-3-252875 口座名義:経済教育学会

年会費:正会員 5,000円、学生会員(大学院生を含む)2,000円、65歳以上の会員 2,500円

・経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団体(詳細は<http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>)です。学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合があります。以下引用の規約にもとづき、過去の会費の未納分がある方は早急に会費を納入お願いしております。「2年間にわたり会費を納めないものは、原則として会員の資格を失う。学会誌送付時で年会費未納の会員については、その旨を伝えて、本会の出版物の配布を保留し、会費納入後に送付することとする」(会則4より) (2016年3月春季理事会で改正)

経済教育学会 ニューズレター 第33号 2020年6月1日発行

発行人 経済教育学会会長 高橋勝也 編集人 久井田直之 発行所 日本大学経済学部 久井田直之研究室
〒101-8360 東京都千代田区三崎町 1-3-2 電子メール office@ecoedu.jp

学会費送金先 ゆうちょ銀行 振替口座番号 00920-3-252875 印刷所 株式会社 エムディーエス 03-5829-4960